

教育目標:つよい子・考える子・助け合う子

杉並区立大宮小学校



大宮小

HP URL:<http://www.suginami-school.ed.jp/oomiyashou/>

題字『大宮養』(おおみやこう) 勝海舟

## 大宮小の挑戦

副校長 矢藤健男

先週の授業公開では参観人数・参観時間の指定にご協力いただき、また保護者会には多数のご出席をいただき、誠にありがとうございます。

さて、先月は4月号でお知らせした、学校全体で挑戦していく取り組みのうち2つが始まりました。

3年生から6年生の児童が区から貸与されたタブレット端末を家庭に持ち帰り始めました。1・2年生も校内にタブレット端末を配備しています。児童にとってタブレット端末がより身近な存在になりました。校内を見回っていると、タブレット端末を利用して自分の考え等を記録したり、友達の考えを見合ったりする授業をよく見かけるようになりました。また、学習アプリを使って自分が選んだ問題に取り組む学習もできるようになりました。手の届く所にタブレット端末があることで子供たちは必要な時にいつでも使うことができます。「知りたい」と思った時にすぐに調べたり、自分の考えや発見や取り組みを記録したり、友達と考えを共有したり、自分が選んだ学習を進めたりする機会が増えていきます。大宮小の児童の学びがさらに広がっていくことが期待できます。このことが実現できるよう、タブレット端末の活用を推進していきます。

日本赤十字社東京都支部の方が来校し、青少年赤十字登録式をオンラインで行いました。代表児童への旗とバッジの授与の後、青少年赤十字の理念が「人道」(人間がもっているやさしさをもって助け合っていくこと)であることなどを全校児童に教えてくださいました。校長室前の掲示板には、赤十字の父アンリー・デュナンの肖像画や青少年赤十字のちかいの言葉の他に、来年100周年を迎える青少年赤十字のポスターを掲示しています。その中に「やさしいところを未来へつなごう!」の言葉が記されています。私が校内で大きな荷物を運んでいると「手伝いましょうか。」とか「大丈夫ですか。」と児童が必ず声をかけてくれます。このように大宮小の児童は、「やさしい心」をもって思いやりのある行動ができる児童がたくさんいます。この子供たちのよさを青少年赤十字の活動を通して、さらに育てていきたいと考えています。

大宮小学校の卒業生であり、作曲家・作詞家など様々や分野でご活躍された小林亜星さんがお亡くなりになりました。大宮小では、120周年を迎える年に記念歌「おおみや・おおみや・グングングン!」を作詞作曲していただきました。その年の記念式典で全校児童を前に指揮をしている写真が、校長室に今も飾られています。この曲は「1年生を迎える会」「6年生を送る会」「離任式」などで流され、児童や教職員に口ずさまれています。親しみやすいメロディなので忘れられない曲となっています。大宮小として小林亜星様の訃報に接し、ご遺族の皆様にご挨拶とお悔やみを申し上げますと共に、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

生活目標

身の回りをきれいにして生活をしよう

蒸し暑い日が増えてきました。休み時間や体育の後など、子供たちは汗をいっぱいかいて教室に戻ってきます。手を洗って拭くためのハンカチだけでなく、汗を拭くタオルも必要になってきます。子供たちが元気よく過ごせるように、「身体や衣服の清潔」「熱中症の対策」等引き続き指導していきます。